

株主総会資料の電子提供制度のご案内

会社法改正により、2023年6月下旬開催予定の株主総会から、これまで郵送していた株主総会資料（以下、「招集ご通知」）が、原則ウェブ化されます。

当社の対応

ウェブサイトへのアクセス方法及び議案に関する参考書類を記載した招集ご通知を議決権行使書とともに発送する予定です。
なお、社長インタビューや綿半グループの取組み等を記載した綿半レポート（株主通信）は、決議通知等とともに発送いたします。

今後、当社が 株主様へ送付する 書面内容	招集ご通知			
	招集ご通知 株主総会開催概要（日時、場所、目的事項等） <u>アクセスURL</u>		株主総会参考書類 各議案の説明（期末配当、取締役選任等）	
	綿半レポート			
予定	社長メッセージ 経営方針、成長戦略等	事業別概況 小売事業 / 建設事業 / 貿易事業 （事業概況、業績数値、成長戦略） 事業トピックス	担当者に訊く 社員インタビュー	その他 ▪ ESG / SDGs ▪ 店舗情報 ▪ 新商品情報等

招集ご通知（電子提供措置事項）は、当社ウェブサイトに掲載いたします。
インターネットをご利用いただくのが難しい方は、書面交付請求もご利用いただけます。

電子提供制度に関するお問合せ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505**

受付時間 平日9:00~17:00（土・日・祝日を除く）
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>



綿半ホールディングス株式会社
<https://watahan.co.jp/>

東京都新宿区四谷1-4
綿半野原ビル
TEL:03-3341-2766（代表）



Watahan Report

綿半レポート

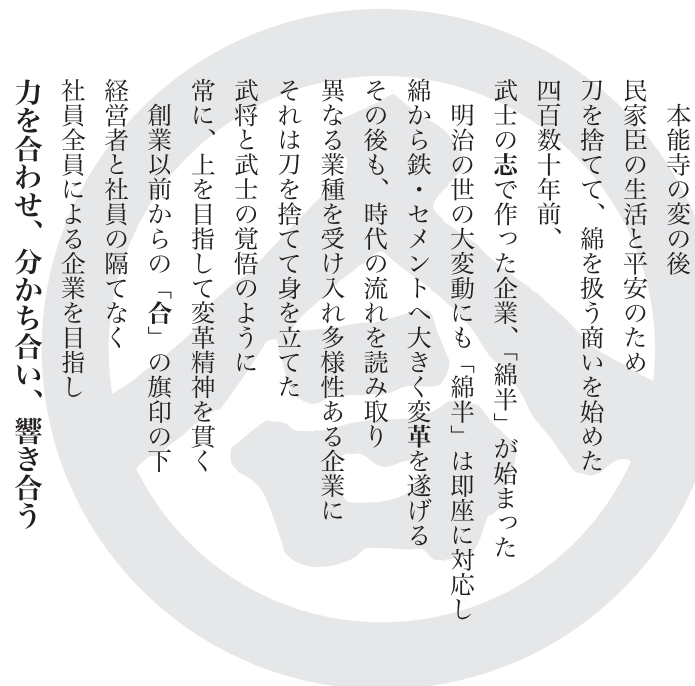
2023年3月期 中間報告書
2022年4月1日▶2022年9月30日

力を合わせ、分かち合い、響き合う。
「合才の精神」
綿半グループ



力を合わせ、分かち合い、響き合う。 「合才の精神」

「合才の精神」で
力を合わせ、分かち合い、響き合う
地域社会の活性化と
人々のより良い生活環境構築のために進む
世の平安のために



「合」の旗印を掲げた
信長の武將の一人が居た
民家臣と共に力を合わせ
地域を守り、地域の発展に邁進していた
本能寺の変の後
民家臣の生活と平安のため
刀を捨てて、綿を扱う商いを始めた
四百数十年前、

武士の志で作った企業、「綿半」が始まった
明治の世の大変動にも「綿半」は即座に対応し
綿から鉄・セメントへ大きく変革を遂げる
その後も、時代の流れを読み取り
異なる業種を受け入れ多様性ある企業に
それは刀を捨てて身を立てた
武將と武士の覚悟のように
常に、上を目指して変革精神を貫く
創業以前からの「合」の旗印の下
経営者と社員の隔てなく
社員全員による企業を目指す

綿半ブランディング・ストーリー「しかくがっさい志革合才」

綿半

綿半グループの事業

綿半グループは1598年の創業以来、常に変革を続け業容を拡大してきました。
現在は持株会社「綿半ホールディングス株式会社」を中核とし、グループ会社がそれぞれの高い専門性を活かして、
小売事業、建設事業、貿易事業を展開しています。

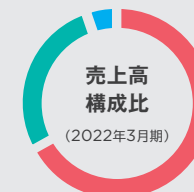


事業別構成比

■ 小売事業
765億円 66.9%

■ 建設事業
318億円 27.8%

■ 貿易事業
58億円 5.1%



■ 小売事業
18.1億円 51.8%

■ 建設事業
8.4億円 24.2%

■ 貿易事業
6.9億円 19.9%

たゆまぬ成長と 進化を続け、 地域経済を 盛り上げる

綿半ホールディングス
代表取締役社長
野原 勇



決算のポイント

	売上高	営業利益／経常利益
2023/3 上期	・建設事業で受注済工事が順調に進捗し増収	・電力料値上げの影響を受けたものの、建設事業で工事が順調に進捗し増益
2023/3 通期予想	・上田店・榎堂店のオープン、建設事業で受注済工事が進捗し増収	・電力料値上げ等の影響が見込まれるものの、建設事業で工事が進捗し増益

共同仕入と「綿半オリジナル商品」の拡充で お客さまの暮らしを応援します

世界的な原材料の高騰や急速な円安進行により、様々な商品の値上げが相次ぐなか、小売事業では駆け込み需要が発生するなど、消費動向に影響がみられます。綿半グループでは兼ねてより、グループ共同仕入による原価低減を図り、その利益の一部をお客さまに還元するEDLP（エブリデー・ロー・プライス）戦略を推進してきました。このような環境下のなか、価格転嫁せざるを得ない商品がありますが、売れ筋の生活必需品を中心に、地域のお客さまの暮らし応援のため、値引きした商品も多くあります。今後も、お客さまに喜んでいただける企業努力を続けてまいります。

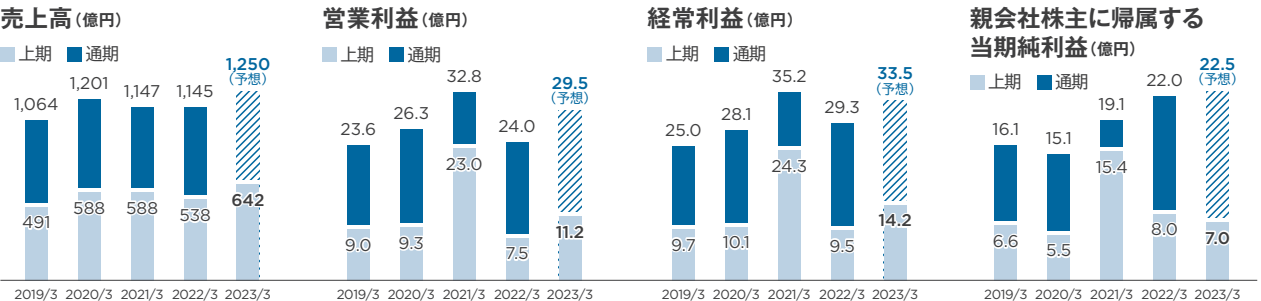
同時に、当社のプライベートブランドをお客さまに知っていただけるチャンスにも捉えています。綿半オリジナル商品は、これまで非食品のホームセンター商材が中心でしたが、現在は食品の拡充に取組み、開発スピードを

加速しています。美味しさにこだわった商品が低価格で購入できると知っていただければ、必ずリピートしていただけるはずです。

物流体制の整備による 配送業務の効率化が競争力に

ここ数年で、鮮魚の調達網を日本各地に拡大し、漁港から仕入れて自社便で直送する体制を確立してきました。野菜も生産者から直接購入する仕組みを作っていくなか、レタス等の葉菜類を超短期間で冷却し、高鮮度を保ったまま産地から店頭へお届けするコールドチェーンを新たに構築し、自社の物流体制を整え、より一層の鮮度向上に取り組んでいます。これらの施策により、高騰している物流コストを抑え、着実に粗利率の向上へつなげています。

2023年には、飯田の物流センターが新たに完成する予定です。品目が増加している綿半オリジナル商品の在庫管理をスムーズに行えるようになり、配送業務をより効率化することができます。さらに、インターネット通販の配送も活発化することができます。



「出口」があるからこそできる挑戦

7月末には、M&Aにより綿半ファームとして新たに養豚事業に参入しました。すでに当社グループの店舗では、綿半ファームで育てた良質な豚肉の提供を開始しています。今後、店舗の調理過程で発生する食品ロス等を飼料として再利用することで、循環型社会の形成にも寄与していきます。

さらに綿半トレーディングでは、100%天然植物由来の動物飼料添加物の販売を開始しました。これは飼育動物の臭気を軽減させるとともに、腸の健康を保ち、病原体への耐性を高めることで、死亡率を軽減させることができる商品です。養豚事業のなかでコストを占める飼料をグループ内で循環、融合することができれば、原料の調達から店頭には並ぶ最終製品まで一本化することが可能となり、品質にこだわった商品をより低価格で販売できるようになります。これも店舗という「出口」を持っている当社グループだからこそできる、新たな挑戦だと考えています。

グループ力で、新業態の店舗開発に取り組む

9月末、長野市の中心部に「綿半スーパーセンター権堂店」をオープンしました。私たちにとってはマンションが建ち並ぶ駅直結の都市型店舗は初の試みです。権堂店は、食品スーパーにホームセンター、ドラッグストア・調剤薬局に加えて、インテリアショップ、英語で預かる学童保育等、地域の需要に合わせて、綿半グループが持つ機能を集結した複合型施設です。従来の郊外型店舗とは違う店づくりに試行錯誤しながら、都市型店舗に合った新たな運営方法を確立していきたいと思っています。

鉄骨製造のFA化、食品分野への開拓で成長を加速

建設事業では、人手不足解消に向けた働き方改革や生産性向上に対応するため建築鉄骨製造のFA（ファクトリーオートメーション）化を進め、増設・拡張を



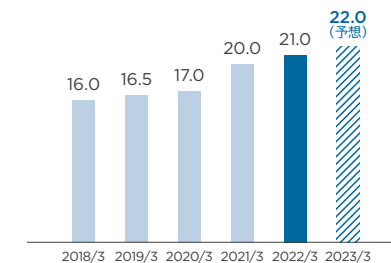
行った飯田工場において梁の溶接・組立を一貫して全自動で行う生産体制が整いました。生産効率の向上、安定品質は当社の強みとなり、今後需要が大きくなれば、その強みがさらに活きてくるはずです。

貿易事業では、もともとヘアワックスの原料を輸入していたメキシコから食品原料を輸入するなど、自然派オーガニック商品の開拓を推進しています。なかでも、栄養価が高く、スーパーフードとして注目されている「ウチワサボテン」を新たな食材として国内メーカーへ提案し、飲料やスイーツ等の原料に採用されました。このように日本ではまだ馴染みが薄い海外の食品原料の開拓を進め、メーカーへ周知を努めながら、ニッチな市場で高シェアの獲得を目指していきます。

2023年3月期 配当金（予定）

1株当たり
年間 **22.0** 円

1株当たり配当金※（円）



※2020年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、年間配当金を算定しております。

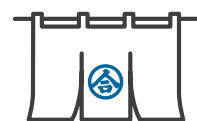
拡充した株主優待制度から、綿半グループを身近に感じてください

株主の皆さまにも、綿半グループの商品を知っていただくため、株主優待は綿半オリジナル商品で揃えています。新たに、当社のシェフが監修したパスタソース等の新商品を詰合せた「シェフズセット」を追加し、お選びいただける優待品を14点へ拡充しています。

今後も、株主の皆さまや地域のお客さまに、綿半グループを身近に感じていただける活動を行いながら、持続的な成長を目指してまいります。株主の皆さまには、引続き、末長く応援いただければ幸いです。

方針

地域に寄り添い、地域と共に新しい価値を創造する



暖簾

信用・信頼の継続



地域

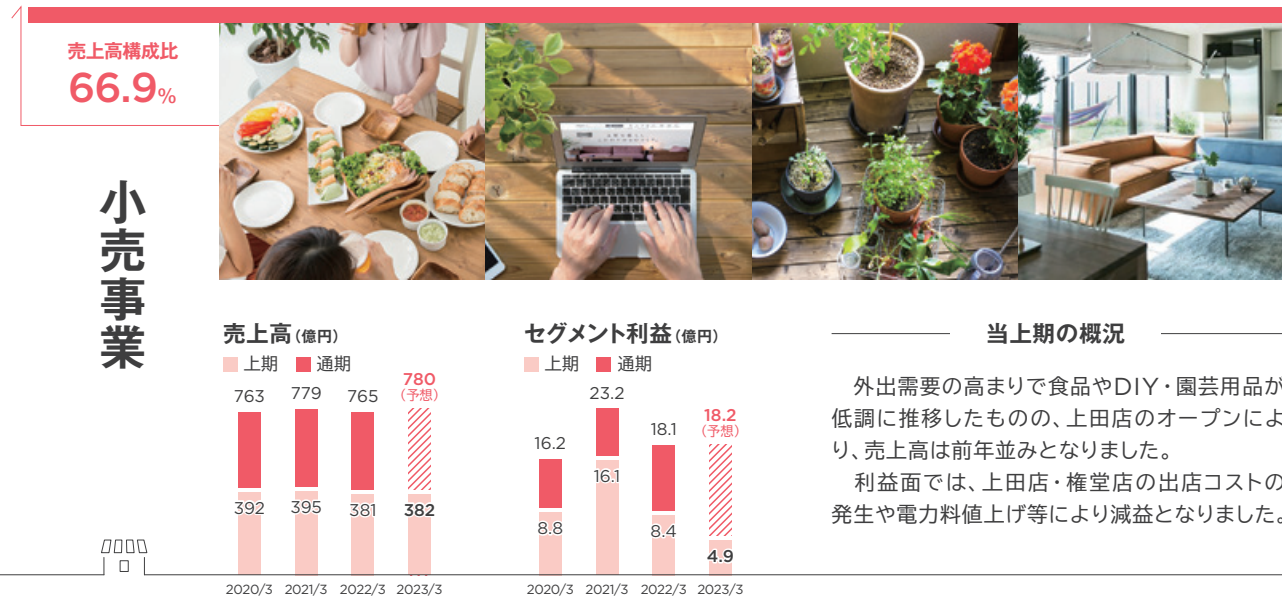
地域社会の発展



環境

循環型社会の形成

Policy

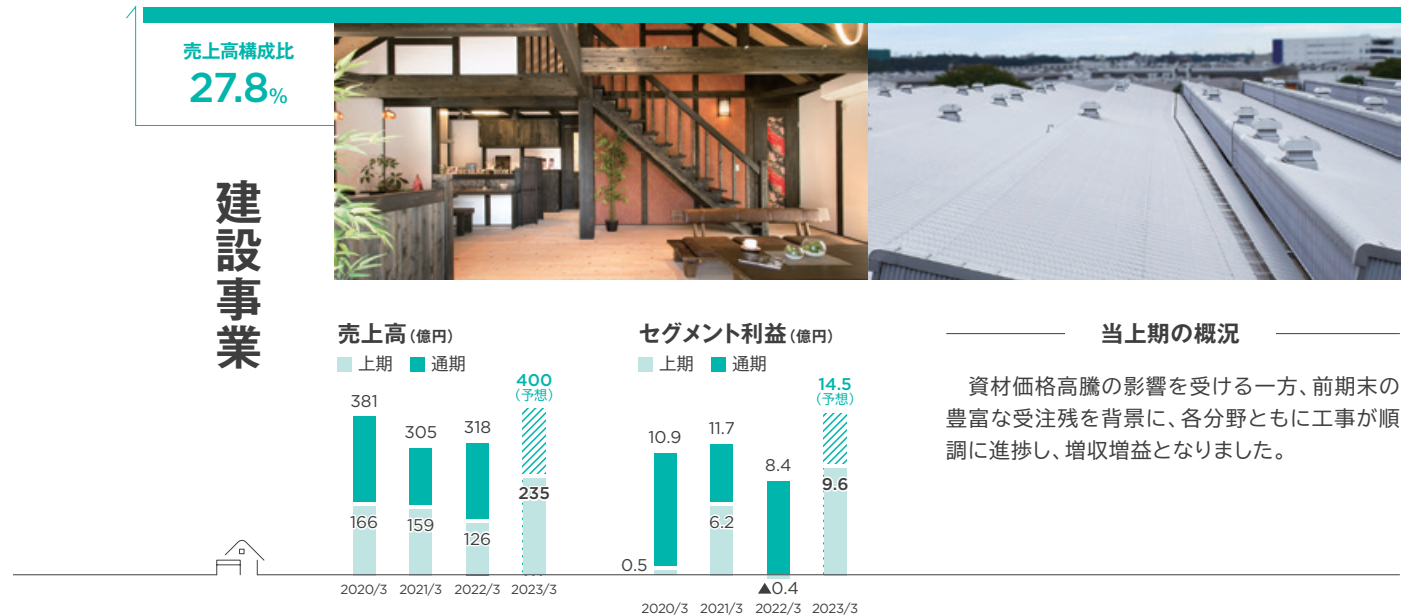


TOPICS

綿半スーパーセンター上田店オープン

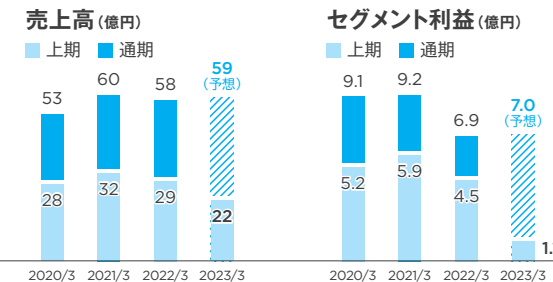
長野県東信エリアに、食品スーパー、ホームセンター、ドラッグストアの3業態を揃えた「綿半スーパーセンター上田店」がオープンしました。

「地域で一番買い物がしやすく、お得な店」をコンセプトに、対面販売を基本とした鮮魚・精肉・グロースラント等の各売場では、専任スタッフがお客さまとの会話を通して、商品の提案や本日のおすすめ・お得な情報をお伝えします。これからも、地域のお客さまが楽しみながらお買い物いただける活気ある店舗を目指していきます。



売上高構成比
5.1%

貿易事業



INTERVIEW



綿半スーパーセンター権堂店
シニアストアマネージャー

望月 崇史

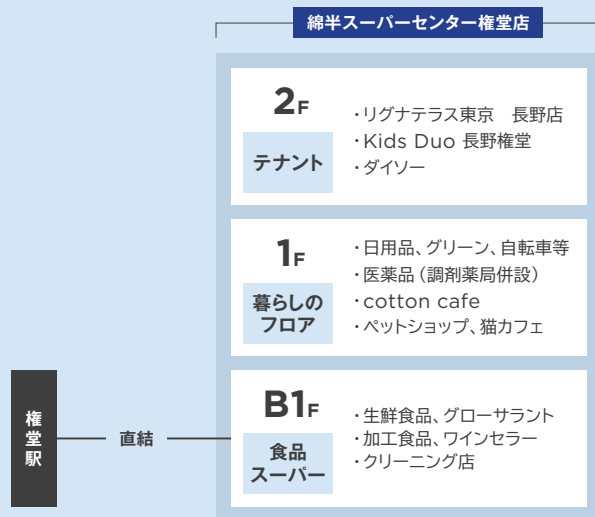
2022年9月30日オープン!

衣食住が揃う 綿半スーパーセンター 権堂店

地域から信頼され、
必要とされるお店を目指します

綿半グループ初の都市型スーパーセンター

当店は、長野市中心部・行政庁舎にも近く、マンションが建ち並ぶ権堂地区にオープンしました。長野電鉄長野線の権堂駅に直結しており、地下1階から2階までのフロアに生鮮食品からホームセンター商品、医薬品のほか、各種テナントも入り、郊外型店舗を展開してきた綿半グループにとって、初の「都市型スーパーセンター」です。



地下1階の食品スーパーでは、少量パックの惣菜や量り売りの精肉カウンター等を展開し、マンションや一人暮らし、少数ファミリーなど、都市型の生活様式に対応した商品を揃えています。また、権堂は飲食店が多いエリアでもあるので、業務用の調味料や酒類のほか、ワインセラーを初めて導入しました。



小型の観葉植物やギフトにもなる生活雑貨等、従来とは違うラインナップを展開

活魚が泳ぐ生簀等から魚を捌いて提供

握り寿司が楽しめるカウンター

1階の暮らしのフロアでは、地域のニーズに合わせてインテリアグリーンや自転車を充実させ、調剤薬局併設型の医薬品売場も展開しています。当店限定のスイーツが楽しめるカフェでは、学生さんやお子さま連れのお客さま等にご利用いただき、地域の憩いの場となっています。

周辺にスーパーや薬局等がないエリアなので、今までお買物に苦労されていたお客さまも多かったと聞いています。お年寄りや会社勤め、飲食店の方等、幅広い層のお客さまにご利用いただき、地域から期待の大きさを実感しています。

お客さまとのコミュニケーションを重視した接客

目利きのバイヤーが日本各地の漁港から仕入れて自社便で直送した鮮魚、店内の新鮮な食材を使ってシェフが調理したお料理など、鮮度・品質の良さはもちろんですが、商品だけではなく、お客さまに食材の美味しさを伝え、ご要望を聞いておすすめの商品を提案する、コミュニケーションを通じた接客を大切にしています。

例えば、鮮魚売場では、魚の説明やおすすめの調理方法を伝えるほか、お客さまのご要望に合わせて、刺身や切身用に厨房で魚を捌いて提供しています。また、その場で握り寿司にして、立ち食いスタイルのカウンターで食べることもできます。

会話を通した接客でお客さまにお買物を楽しんでいただき、また綿半に行こうと思ってもらえるようなお店を目指しています。品揃えや鮮度、品質にしても、地域の方から信頼されて、必要とされる存在でありたいです。

TOPICS

長野県初進出の 「リグナテラス東京 長野店」

2階には、東京にショールームを構え、映画・ドラマのインテリア監修も手掛けるリグナが長野県に初出店しました。雰囲気異なる家具・インテリア雑貨を組合せ、様々なライフスタイルに合わせた空間を提案します。また、権堂店では、大人の普段着が揃うアパレルも展開しています。



リグナテラス東京 長野店



世界の優れた食品原料を 誰もが知るものに育てる

綿半トレーディング株式会社
化成品部 係長 **石井 邦彦**

社会課題解決が期待される植物、 ウチワサボテン

「ウチワサボテン」をご存じでしょうか。過酷な環境下でも育つウチワサボテンは、栄養価が高く食物繊維の多いスーパーフードとして、メキシコ等では古くから食用とされてきました。

2013年に昆虫食を推奨した国連食糧農業機関（FAO）が、2017年にウチワサボテンは「食卓メニューに載せるに値する」と見解を示したこともあり、近年ではウチワサボテンは、海外の大手コーヒーチェーンや菓子メーカーでも採用されています。「水いらず、手入れいらず」のウチワサボテンは、農作物が育たないような乾燥地でも、水を引く灌漑施設を必要とせず、容易に栽培できることから、食糧危機や砂漠化等の社会課題の解決が期待できる植物として、注目されています。

日本ではあまり馴染みのない植物ですが、茎の部分はオクラのように日本人が好む粘り気があり、トゲを抜いて千切りにすれば、生のまま食べられます。果実は甘い、ベリー系のような味がします。実は愛知県春日井市では、学校給食や飲食店でラーメンや餃子、サラダ等の料理に使われています。

また、食用だけではなく、赤い種子に含まれる美容効果が注目され、世界的なスキンケアブランドや、韓国コスメでウチワサボテンの成分を配合した商品が話題となり、当社でもウチワサボテンシードオイルの輸入販売を行っています。

世界の様々な天然原料を発見し、 社会に広める

綿半トレーディングは、医薬品・化粧品・食品の天然原料を海外から輸入し、国内メーカーへ販売する事業を展開しています。私たちは日頃から世界中の文献を

調べ、ウチワサボテンのように国内ではあまり知られていない優れた成分を探しています。特に、ヘアワックスの原料であるキャンデリラ草の仕入拠点として長年取引しているメキシコとのつながりは深く、現地で注目されている天然原料の情報を集め、国内メーカーへ紹介しています。このウチワサボテンも、メキシコの国旗に描かれるほど関わりの深い植物であり、国を象徴する植物です。

私は、人材派遣会社で営業職を経て当社に入社しました。異業種での営業に抵抗感はありませんでしたが、当然ながら天然原料の取扱いは勝手が違います。気温・雨量等の天候によって採れる量や色味に違いが出るので、常に同じ状態・量を仕入れて提供することは難しいです。色や味、匂い等少しの変化で品質に関わる日本では、環境によって多少の影響が出るということも併せてご理解いただけるよう、日々努めています。

綿半グループから 「誰もが知る食品」が生まれるために

ウチワサボテンを扱い始めてから4年ほどが経ち、ようやく国内でも飲むヨーグルトやアイスクリームのほか、



昨今トレンドのクラフトビールにも採用されました。ウチワサボテンの赤い果実から抽出された綺麗な赤色がカギとなり、泡まですっすら色づいたビールは特に女性の方にも好評です。すっきりとした味わいに仕上がり、ビール特有の苦みが苦手という方にも受け入れられています。

このように、着実に認知度を上げ、提案したものが実際に製品化されたときの喜びは格別です。しかし、それが本当のスタート地点でもあります。メキシコ特産のアボカドも昔はマイナーに思われていましたが、今では食卓に浸透しているように、ウチワサボテンも日本で一般的に食べられるように広めていきたいです。

私たちの強みは、グループ内に食品スーパー・スーパーセンター等の店舗という出口があることです。また、店舗には店内の食材を使ってシェフが調理する「グローサラント」があり、料理としてお客さまに知っていただくこともできていると考えています。外部のメーカーへ提供して新製品として世に出し知名度を上げつつ、グループ内では店舗で身近に感じていただける食品として提案をする、これは私たちグループだからこそできることです。

当社のコンセプトは「ニッチな市場でシェアを大きくとる」です。誰もが知る食品を綿半グループから生み出す——これが、私の使命です。



綿半グループのESG/SDGs

綿半まつりで地域を盛り上げる

人口減少や農業の担い手不足等、様々な課題があるなか、地域を盛り上げるために綿半グループでは、「綿半まつり」を開催しています。店舗やSNSを通じてPRを行い、綿半グループ内の企業や取引先さま、地域の飲食店・生産者の方々が出店し、県内外から人を呼び込むことで地域経済の活性化を図ります。

会場では、綿半オリジナル商品やアウトレット商品、地域で獲れた野菜や特産品等が並び、子どもたちが楽しめるイベントも実施しています。2021年に始めたこの活動は、長野県飯田市と飯綱町で開催し、ご家族連れをはじめ、大変多くのお客さまにご来場いただきました。



また、地域のお客さまに喜んでいただくため、各店舗でも「綿半まつり」を開催しています。

店頭で炭火焼の肉や魚を販売するほか、鮮魚市、野菜詰め放題等の店舗ごとの特色を活かしたイベントを実施しています。

これからも綿半グループの事業を展開している様々な地域で「綿半まつり」を開催し、地域社会の活性化に貢献していきます。



11 住み続けられるまちづくりを



株主優待のお知らせ

株主優待対象の株主さまのみ、株主優待のご案内を同封しております。株主優待は当社株式100株以上を継続的に保有している株主さまが対象となります。

継続保有については、毎年3月31日及び9月30日の連続2回、同一の株主番号で株主名簿に記載されていることを確認いたします。

※優待品2点を得るには、3月31日及び9月30日時点で300株以上保有されていることが条件となります。

会社情報 (2022年9月30日現在)

会社概要

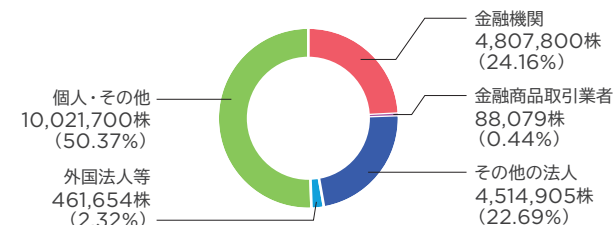
会社名	綿半ホールディングス株式会社
本店	長野県飯田市北方1023-1
本社	東京都新宿区四谷1-4 綿半野原ビル03-3341-2766(代表)
設立	1949年2月18日(創業1598年)
資本金	10億5,139万2,000円
従業員数	連結4,840名(臨時雇用者3,223名含む)

株式情報 (2022年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	19,894,434株
株主数	16,358名

所有者別株式分布状況



役員

代表取締役会長	野原 莞爾	取締役(常勤監査等委員)	横山 隆
代表取締役社長	野原 勇	社外取締役(常勤監査等委員)	矢島 充博
専務取締役	有賀 博	社外取締役(監査等委員)	坂本 順子
取締役	笹 広男	社外取締役(監査等委員)	萩本 範文

大株主の状況

	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,953,000	9.81
綿半グループ従業員持株会	1,940,200	9.75
株式会社八十二銀行	800,000	4.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	741,300	3.72
昭和商事株式会社	612,000	3.07
元旦ビューティ工業株式会社	600,000	3.01
株式会社綿屋半三郎	590,000	2.96
野原ホールディングス株式会社	582,600	2.92
野原 勇	547,612	2.75
株式会社ヤマウラ	500,000	2.51

※持株比率は自己株式(296株)を控除して計算しております。